

チーム豊成の力を高め、「潤いと勢い」のある学校づくり

Connect



帯広市立豊成小学校 キャリアプロジェクト通信

令和5年7月14日
NO.5 文責 菊谷

キャリア

JAかわにし青年部のみなさんの思い・・・

～帯広・十勝の素晴らしさに触れて～

キャリアプランニング能力（「働くこと」の意義を理解し、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力）の育成を目指します。

6月19日（月）、5年生を対象とした「私たちの食と農業を考えよう」の出前授業が行われました。今年も総勢19人のJAかわにし青年部のみなさんが、大きな牛の模型を軽トラックに積んで来てくださいました。

1時間は、校内で「帯広の農業・酪農」について学びました。「農業王国」と呼ばれている十勝で栽培されている豆、長芋、小麦、ビートの話や、酪農や農業という仕事へのやりがいや思いなどを聞くことができました。

もう1時間は、グラウンドでのトラクター試乗と、教材園での野菜の育て方を学びました。

「農業という仕事は、天候に左右され、たくさん収穫できるときとできないときがあって大変ですが、みなさんに、安全でおいしいものを届けたいという熱い思いで仕事をしているので、十勝の農業、酪農の素晴らしさを少しでも感じながら食事をしてほしい。」ということをお話してくださいました。十勝の農業、酪農への熱意が伝わる講座でした。



学習の振り返りより

- ・十勝産の小豆は有名で、給食にも出るので、これからも残さずに感謝の気持ちを忘れずに食べたいと思いました。
- ・十勝の小豆が世界トップレベルということをはこりに思って生活しようと思いました。
- ・トラクターが自動で動くことや値段が3000万円ということを知り、驚きました。
- ・牛は、毎日搾乳しなければならないので、1日も休みがないことを知りました。昔も人は手でしぼっていたことに驚きました。ありがたい気持ちで牛乳を飲みたいです。
- ・農家の方が何日もかけて作ってくれていることを考えて生活していきたいと思いました。
- ・今日の給食の牛乳はちゃんと飲みました！